

# 新たな燈火

(昭和五十二年寮歌)

石川徹君 作歌  
元辻毅君 作曲

## 一

北国の荒ぶ吹雪に  
榆の木の高く聳える  
原始林の中果てる事なく  
雄々しくて人の臉に  
何時迄も鮮やかに刻む  
其の姿を恵迪寮は

## 二

憂愁と理想を胸に  
爽やかに寮友は去り行く  
夜を徹し未来の事を  
御互に語った部屋に  
思出の言葉を残し  
懐かしい恵迪寮を

## 三

年月に傾く姿  
痛ましく懐いの残る  
部屋の壁崩れ落ちて  
昔から点る燈火  
今はもう細くなり行く  
我々の恵迪寮の

## 四

先人の残した燈火  
心有る寮友よ絶やさず  
思い見て新たな燈火  
今こそ探し求めて  
点そう絶やす事なく  
何時迄も恵迪寮に